

水彩画教室 「三日月の丘」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

旧暦では「新月(月齢0)」の日を「一日」としていました 新月の日は「月が立つ日」ということで「月立ち」と呼ばれ それが転じて「ついたち」となりました 新月の2日後が「三日月」です 従って三日月は「月齢3」ではなく「月齢2」が正しいのです 月齢2の月は極めて細い月で 日没後に太陽を追いかけるようにすぐ沈んでしまいます 都会で「真の三日月」を見ることは非常に稀ですが 郊外や高原の開けた土地では見ることができます 三日月の輝度(明るさ)は 満月の300分の1しかありません しかし沈む寸前には 丘と木々をかすかに照らしていました



これが完成した絵です



1、最初に空を塗ります 今回は「スポンジ筆」を使って 一気に一様に塗ってみました



4、丘に枯れ木をたくさん描きます ほとんど落葉樹ですが 何本か常緑樹(針葉樹)も入れておきます



2、主題の三日月は 白の「パステル鉛筆」で描きました その前に パステルを指先につけて 少し「光芒」を描いておきます 木星と土星もここで描きます



5、左側に大胆に樹木を入れます これで画面に奥行きを表現できます



3、丘は ブラックで一気に 面的に描きます 丘の頂が光って見えますが これは 絵の具が乾いていないからです



6、左手の樹木に細かい枝を描き パステルを使って丘に月の反映を描きます 最後に土星と木星の周囲に 少し光芒をつけて完成です